



平成 26 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ケ エ イ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 口 仁 司
(コード: 2151 東証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 専 務 執 行 役 員 興 石 浩
(TEL 03-6361-6820)

株式会社富士リバースの株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、株式会社富士リバース(以下「富士リバース」)を子会社化し、当社初となる、地方自治体・造園業・建設業から排出された伐採木・間伐木・剪定枝等(いわゆる生木)の再生資源化・再生エネルギー原燃料化の事業に参入することといたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

また、本日、新たに岩手県花巻市において森林間伐材等を原料とする木質バイオマス発電事業に参入することを目的に「株式会社花巻バイオマスエナジー」の設立を決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします(本日同時リリース「岩手県花巻市におけるバイオマス発電事業参入に関するお知らせ」をご参照ください)。

記

1. 株式取得の理由及び今後の事業展開について

富士リバースは、富士山の裾野に位置する山梨県富士吉田市に本社を構え、生木等の再生資源化・再生エネルギー原燃料化事業を専門的に行うという特色を持った廃棄物処理・リサイクル事業者で、関東・甲信地域で圧倒的な取扱高を誇っております。

具体的には、主に関東・甲信地域の地方自治体と委託契約を結び、街路樹整備に伴って発生する剪定枝や、公園等公共施設からの伐採木・間伐木・剪定枝を回収します。あわせて、民間事業者である造園業や建設業等の事業活動に伴い撤去された伐採材・伐根材等の廃木材も回収し、これらをチップ化します。その後、木質系チップは、敷料として地元の酪農事業に活用されますが、さらに、発生する牛糞等を集荷し混合・発酵させ、有機肥料を製造します。

こうしたビジネスモデルは、創業者の試行錯誤により構築された「廃棄物として排出された生木類の100%リサイクル」という、全国的にも、ことに関東・甲信地域では珍しい業態であり、製造された有機肥料は、剪定枝の発生元である自治体や地元の協力農家で循環利用されるほか、全国チェーンの大手ホームセンター各地に出荷販売され、高い評価を得ております。

また直近は、木質系チップを関東近郊の発電所に発電用原燃料としても出荷しております。

当社グループにとって、今回の富士リバースの子会社化は、当社がこれまで手がけてこなかった、地方自治体からの民間委託事業(自治体が排出事業者である「一般廃棄物処理」という新たな分野への参入ということになります)。

2. 今後の事業展開について

現在首都圏では、各自治体による環境美化・都市緑化の取り組み強化や、都市周辺部の再開発事業の増加から、市街地(道路・公園・庭園・庭等)から発生する廃木材の増加が見込まれております。そこで、富士リバーズでは、受け入れを強化し、廃木材をチップ化する能力を増強させる計画(現状の倍増を計画)を進めております。さらに、能力増強によって増加した木質系チップを原燃料とする廃棄物由来の「自社回収・自社産燃料・地産地消型・都市型バイオマス」発電事業への参入も、関東・甲信地域において、あわせて検討してまいります。

当社グループでは、バイオマス発電事業をこれからの経営の重要課題と位置付けております。東北地域での株式会社津軽バイオマスエナジー・株式会社花巻バイオマスエナジーにおいては山林間伐材を主な発電燃料とする「地産地消型・森林バイオマス」発電を計画しておりますが、富士リバーズにおいては前述のとおり「都市型バイオマス」発電としての事業化を検討しており、現状当社グループ等で受け入れ処理している建設廃木材についても、付加価値化し、発電用原燃料として有効活用できないか、検討しております。

また、究極の都市型バイオマス発電の原燃料として、都市部に潜在的に多く眠る「廃棄物由来の原燃料化事業(RPF等固形燃料の製造)」を加速化させるため、先ごろ子会社化したしました富士車輛株式会社との協業スキームを早期に構築してまいります。

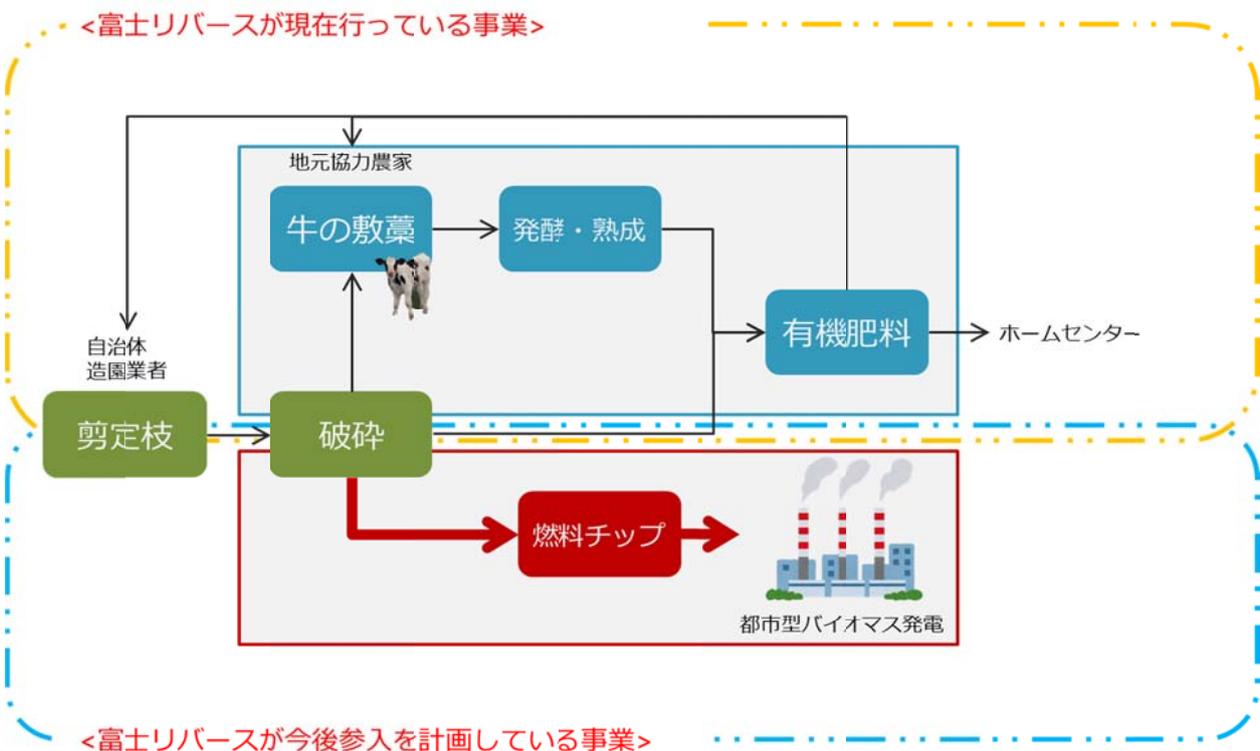


図: 富士リバーズのビジネスモデルについて

3. 異動する子会社（株式会社富士リバーズ）の概要

- (1) 会社商号 株式会社富士リバーズ
- (2) 代表者 山田芳弘
- (3) 本店所在地 山梨県富士吉田市上吉田 4838 番地
- (4) 設立年月日 平成 15 年 9 月 29 日
- (5) 主な事業内容 一般廃棄物処分業、一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業
木質系特殊（有機）肥料生産販売、木質系燃料チップの生産販売
一般建設業(造園工事) 他
- (6) 決算日 4 月 30 日
- (7) 従業員数 47 名
- (8) 主な営業所等 富士ヶ嶺営業所 山梨県富士河口湖町富士ヶ嶺 141-1
相模原営業所 神奈川県相模原市緑区根小屋 1726-1
- (9) 資本金 20,000 千円
- (10) 発行済株式総数 400 株
- (11) 株主構成 山田芳弘（株式会社富士リバーズ 代表取締役）400 株（100%）
- (12) 上場会社と当該会社との関係 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません（関係者及び関係会社を含む）。
当該会社及び当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。
- (13) 最近事業年度における業績の動向

（単位：千円）	平成 24 年 4 月期	平成 25 年 4 月期	平成 26 年 4 月期
売上高	806,017	902,012	1,043,323
営業利益	16,771	59,339	49,536
当期純利益	4,813	10,652	12,385
総資産	934,787	942,246	1,081,091

4. 株式の取得先

山田芳弘（株式会社富士リバーズ 代表取締役 住所：山梨県富士吉田市）

※当社と山田芳弘氏との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません（関係者及び関係会社を含む）。

5. 取得株式数、及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0 株（所有割合： 0.0%、議決権比率： 0.0%）
- (2) 取得株式数 400 株
- (3) 異動後の所有株式数 400 株（所有割合： 100.0%、議決権比率： 100.0%）

※取得金額については、現株主との取り決めにより、開示を控させていただきます。

6. 日 程

- (1) 株式譲渡契約締結 平成 26 年 10 月 14 日
- (2) 株 式 取 得 平成 26 年 10 月 15 日

7. 今後の見通し

富士リバースの子会社化に伴う株式取得等の諸費用及び今期（平成 27 年 3 月期）当社連結業績に与える影響は軽微です。

現在新規参入を計画している関東・甲信地域におけるバイオマス発電事業につきましては、その影響を含め、検討事案が具体的になった時点で、改めて開示いたします。

以上